

# ヘリコプター用の計器進入・出発方式の設定について

## 【設定背景】

空港は、災害時の防災・物資輸送拠点として利用されることから、天候の状況に左右されることなく、ヘリコプターによる救助や救援物資の輸送等を確保するため、防災機関等からの要望を受けて、道内で旭川、帯広、釧路空港が選定されました。

## 【導入効果】

- ・ 計器による着陸が可能になることで、防災機能の向上
- ・ ヘリコプター運航の決心に係る判断基準が緩和

## 【対象運航者】

- ・ 警察航空隊・消防・防災航空隊
- ・ 海上保安庁・防衛省 自衛隊
- ・ その他官公庁・報道機関

## 【運航頻度】

年に数回を予定

## 【試行開始】

令和4年7月14日 から

## ◆ 飛行経路図

(旭川空港)

COPTER  
VOR RWY16

COPTER HIGUMA  
REVERSAL DEPARTURE

COPTER ILS X  
or LOCX RWY34

※飛行経路は、当日の風向きや風速、パイロットの操縦方法によって、変化することがあります。



# ヘリコプター用の計器進入・出発方式の設定について

## ◆ 飛行経路図（旋回部詳細図）

※飛行経路は、当日の風向きや風速、パイロットの操縦方法によって、変化することがあります。

